

吸入連携フロー

病院

<医師>

- 患者に対し、吸入指導の重要性、吸入指導の連携について説明と同意確認。
- 文書管理内の吸入指導依頼書を記載し、吸入指導依頼書と評価表を印刷する。その後、院外処方せんを発行する。薬剤をオーダーする際に、用法の下に「吸入指導依頼書・評価表あり」のコメントを選択していただく。

<患者>

- 吸入指導依頼書・評価表を処方せんとともに保険薬局へ持参する。

保険薬局

<保険薬局の薬剤師>

- 患者さんが持参した吸入指導依頼書の内容を確認し、吸入指導を行い吸入指導評価表を記入。
- 吸入指導評価表を病院の薬剤管理課へFAXで送信する。
返信先: 鈴鹿回生病院 薬剤管理課

FAX: 059-375-1389

病院

<薬剤管理課>

- FAXされた吸入指導評価表を、吸入関連担当者が次の診察日を確認し、クリニック医師に届ける。

<医師>

- 吸入指導評価表を参考に、診察を行う。

保険薬局

<2回目以降>

- 必要時、医師から継続指導を依頼し、情報のフィードバックを繰り返す。

- ✓ 吸入指導評価表は、患者さんにお渡しします(処方せんと一緒に持参されます)。もし、紛失された場合は当院HPからダウンロードしていただくか、FAXでお送りしますので、薬剤管理課までご連絡ください。
- ✓ 吸入指導依頼書は受診の度に毎回発行されるわけではありません。必要時に医師が発行します。
- ✓ 吸入指導依頼書が出されていない患者さんに対しても、報告事項などがあれば、評価表もしくはトレーシングレポート(当院HPからダウンロード可)をご利用ください。